

新自然の家移転整備基本計画案 意見の要旨及び市の考え方

01 計画全体を通じた感想・意見

【とてもよい・まあまあよいの評価理由】88%

- 2つの目指す姿 ○幅広い年代の市民が活用できる ○廃校の活用 ○地域活性化 ○近隣施設・資源の活用
- 市として教育に投資すること ○これまでの良さと新たな良さの融合 ○(地域住民として)子どもたちの姿が見れることが喜ばしい ○(コロナ禍で重要性が再認識された)人との結びつきや交流の機会が提供できる

【よくない・あまりよくないの評価理由】6%

- 自然を感じるのに都会すぎる立地 ●宿泊定員が少ない ●ハード面の雨天時対応を充実すべき

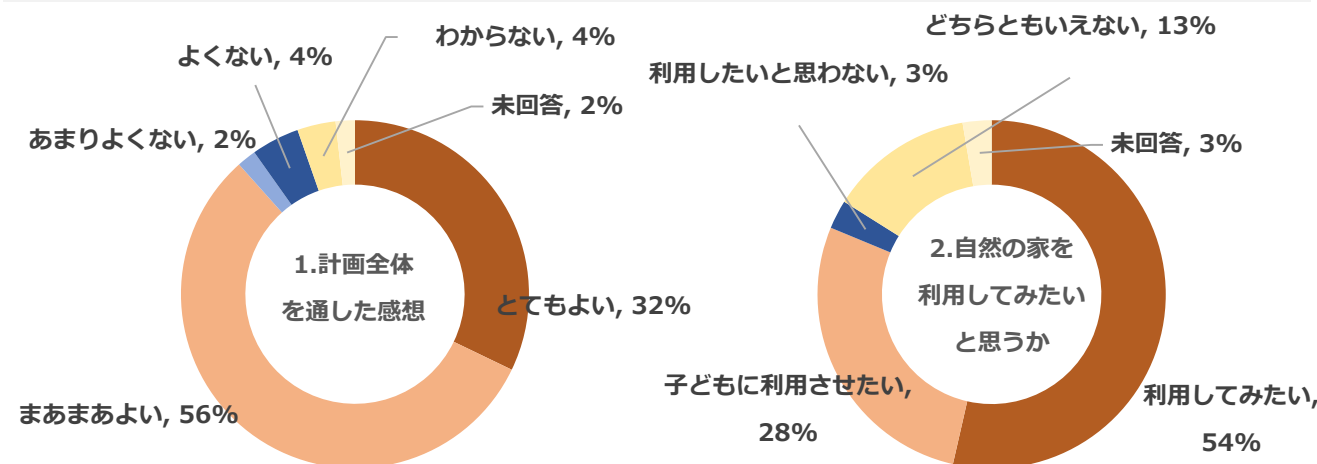
02 自然の家を利用してみたいと思うか及びその理由や用途

【利用したい・子どもに利用させたい理由や用途】82%

- 様々な体験が子どもたちにとって価値あるものである ○手軽な自然体験が可能 ○家族でも利用しやすいコンセプトで利用のハードルが下がった ○宿泊活動の場が少なく日程が設定しにくい現状のため非常にありがたい ○様々なタイプの部屋があることで配慮を要する子どもの宿泊にも対応できる ○グラウンド・体育館をスポーツ合宿等で利用できる

【利用したいと思わない理由】3%

- 自然豊かと言えない立地 ●大きく変わっていない



凡例 ☆計画に反映させた意見 ○今後の運営等の参考とする意見 ▷既に計画に示しているもの ●計画への反映が難しい意見

03 自然の家の活用に対する意見（94件）

▷周辺施設や立地環境を活かしたプログラムの提供

⇒近隣施設等との連携や、興津川流域の豊かな自然環境・お茶などの特産品を組み込んだプログラムなど、両河内ならではの魅力的な体験を提供し、「目指す姿」の実現に向け取り組んでまいります。

▷体験活動を通じた様々な人とのふれあいやコミュニケーションスペースとしての活用

⇒カフェやイベントスクエアを活用し、地域の方や観光で訪れた方も気軽に立ち寄ることができる施設を目指します。また、地域人材を積極的に活用し、地域内外での交流の促進を図っていきます。

▷各種スポーツ等の合宿での活用

⇒スポーツ団体へのヒアリングの実施や近隣のスポーツ施設との連携体制の構築等に取り組むとともに、スポーツや合宿に体験活動を組み込んだ新たな利用を提案し、各種スポーツ団体等の利用促進を図ってまいります。

▷スマートIC整備に伴うアクセスの向上による県外への利用訴求

⇒県外からの利用需要に応える受入体制の構築や、市全域の資源を活かした体験プランの開発に取り組むとともに、関係課や民間事業者との連携によるプロモーションを行ってまいります。

▷文化イベントや民間運営ベースのイベント、休日ワークショップの開催

⇒地域とのマルシェイベントの開催や各種スポーツイベント等の誘致に取り組んでまいります。また、休日には幅広い年代の方が気軽に参加できる体験型ワークショップの開催を検討します。

04 青少年の利用に必要な機能に対する意見（76件）

☆専門職員の配置による活動支援体制（例：野外体験の有資格者や教員経験者など）（P42）

⇒職員配置の参考とさせていただくとともに、計画に職員配置に関する考え方を追記しました。

○体育館などで利用できる各種スポーツ用具の整備

⇒スポーツ団体等へのヒアリングを行い、既存設備の活用や新たな設備の導入等を検討してまいります。

▷ネット環境の整備とスマホ等の使用制限

⇒ネット環境を整備し、利用者の利便性の向上に取り組めます。また、豊かな自然環境で価値ある体験をしていただくために、利用のルールやマナーについて利用者の方とコミュニケーションをとっていきます。

05 大人の利用に必要な機能に対する意見（71件）

☆個室や使いやすく衛生的なトイレ等の快適性の向上やバリアフリー対応（P34,35）

⇒トイレ設備の更新や、バリアフリー対応の居室・シャワー設備の導入等について計画しております。バリアフリー対応やユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設整備について計画に記載しました。

☆web予約を可能とし、簡易に手続きできるようにすること（P42）

⇒令和5年度に市内中山間地域施設で導入するweb予約システムを当施設にも導入予定です。施設の利用受付について、計画に追記しました。

▷食事などで気軽に立ち寄ることのできるカフェ機能や観光案内・人物紹介の仕組

⇒整備を計画しているカフェバー等の機能を活用し、立ち寄りでの利用や地域の魅力発信に取り組んでまいります。

●グランピングやキャンプ設備など屋外宿泊機能の充実

⇒本事業では地域全体で施設間の相互利用の促進を目指しており、キャンプ等の屋外宿泊機能については、近隣の黒川キャンプ場等を活用することが可能であるため、本施設での整備は計画していません。それぞれの施設の特色を活かした用途の棲み分けを行い、地域内を周遊・満喫できるようなプランの開発等にも取り組んでまいります。

06 目指す姿に対する意見（52件）

☆新しい試みを浸透させていくためのネーミングが必要ではないか（P42）

⇒施設通称等について、親しみやすい施設やイメージの刷新を目指し公募等も含め検討していくことを計画に追記しました。

☆長期的に継続運営していくため、価格設定を低くせず経営的に自立するのが望ましい（P42）

⇒施設使用料について、受益者負担の原則と公平性・公正性の確保の観点から、適正な料金を検討することを計画に追記しました。

▷単なる自然の家に留まらず様々な人が多目的に使える施設を目指してほしい

⇒「2つの目指す姿」のもと、青少年教育施設として子どもたちの育成の支援を主眼に置きながら、これまでの自然の家のイメージに囚われない活用に取り組み、多世代の方が集う地域の拠点となる施設を目指してまいります。

▷多種のスキルを持った民間組織等と連携した合理的な施設運営や目指す姿の実現

⇒指定管理者制度の導入等、民間活力の導入について検討しております。今後も、民間事業者へのサウンディングやヒアリングを継続し、意見の聴取を行ってまいります。

07 体験活動や施設利用に対する意見（45件）

☆雨天時でも様々な活動ができる施設整備や体験の充実（P39）

⇒体育館の活用や、その他のスペースについてもフレキシブルに使用できる備品配置等を計画することで、広いスペースを確保し、雨天時にも様々な活用ができるよう検討します。また、屋内で実施可能なプログラムの充実について計画に追記しました。

（重複する意見）近隣施設や地域人材との連携・支援体制の充実・充実した体験の提供・雨天対応の充実 等

08 施設整備に対する意見（46件）

☆防災機能における受入スペース、備蓄品や防災無線の設置（P35,36）

⇒旧西河内小学校は、地域防災計画において指定避難所に指定されており、自然の家への転用後も同様に指定を計画しております。緊急時に備えた、備蓄品・資材の保管、防災無線の設置等について計画に記載しました。

☆更新しやすい設備やランニングコストを抑える施設整備（P34）

⇒設備の更新を見据えた施設整備や維持管理費の節減に向け、計画に施設整備の考え方を追記しました。

▷学校の残せる部分は残し、誰もが懐かしい気持ちになり愛着の持てる施設に

⇒可能な限り既存部分を活かし、学校の雰囲気が残る施設として整備を計画してまいります。

○駐車場スペースや屋外施設(炊飯棟等)の充実のためには機能の取捨選択が必要

⇒スペースの有効活用や、施設規模・機能の取捨選択について、引き続き検討を進めてまいります。

○グラウンドの芝生化

⇒グラウンドの芝生化について、手法の研究等を行います。導入については、今後の検討の参考とさせていただきます。

（重複する意見）バリアフリー対応・バーベキュー施設・グランピング等屋外施設・ネット環境・快適性向上 等

09 その他の意見（36件）

▷自然の家を拠点とした活動フィールド(ウォークラリーコース・沢登りコース・トレランコース等)の整備

⇒既存フィールドの計画的な整備やコースの開発に取り組んでまいります。

▷井川自然の家との棲み分けや違いの明確化・それぞれの存続について

⇒各自然の家の自然環境や体験活動の内容等により棲み分けを行い、魅力的な施設として活用に取り組んでまいります。

▷地域に雇用や産業を生み出す事業となしてほしい

⇒地域資源を活かした施設として、市内内外の利用の受け皿となることで、地域全体の魅力向上や発信・雇用の創出等、両河内地域の活性化に向け取り組んでまいります。